

阪南市における“我が事・丸ごと”共生の地域づくり事業 推進体制図 (活動版)

住民に身近な圏域

持続可能な地域づくりに向け、これまでに無い新たな担い手づくりや、地域での生活の困りごとや福祉に関心を持つための学習の場の提供。

人々



子ども福祉委員
小中学生が地域の担い手に。



地域での福祉学習
子どもも大人も共に学ぶ



共生の場づくり
障がいのある人もない人も誰もが笑顔で交流



共生型サロン
引きこもり・障がいのある人、誰もが主役になれる場



まちなかサロンカフェ
子どもから高齢者まで多世代が集う



拠点づくり
空き家を改修に地域活動に活用

共生の場

身近な地域での活動の場(拠点)づくり。世代や垣根を越えて様々な人が交流でき活躍できる共生の場(機会・活動)づくり。

孤立させないよう、住民と専門職による見守りネットワークづくりや居場所づくり。



くらしの安心ダイヤル(平時からの災害時要援者支援)



子どもの居場所
地域での学習支援や子ども食堂



困りごとに寄り添う支え合い活動の推進



サロンカフェで専門職による「ほっこり相談」で困りごとをキャッチ。



福祉委員・民生委員による見守り活動で様子を把握。

受け止める

住民と専門職が身近な地域であらゆる困りごとを“丸ごと”受け止める。

地域づくり

共生の地域づくり推進員
(兼生活支援コーディネーター)

社協コミュニティワーカー

困りごとキャッチのネットワーク体制

CSW

地域包括支援センター

まちづくり

福祉の枠を超えて、まちづくりに関わる多様な分野団体とつながり地域全体を活性化。



地域での買い物支援
身近な地域での朝市や移動販売など

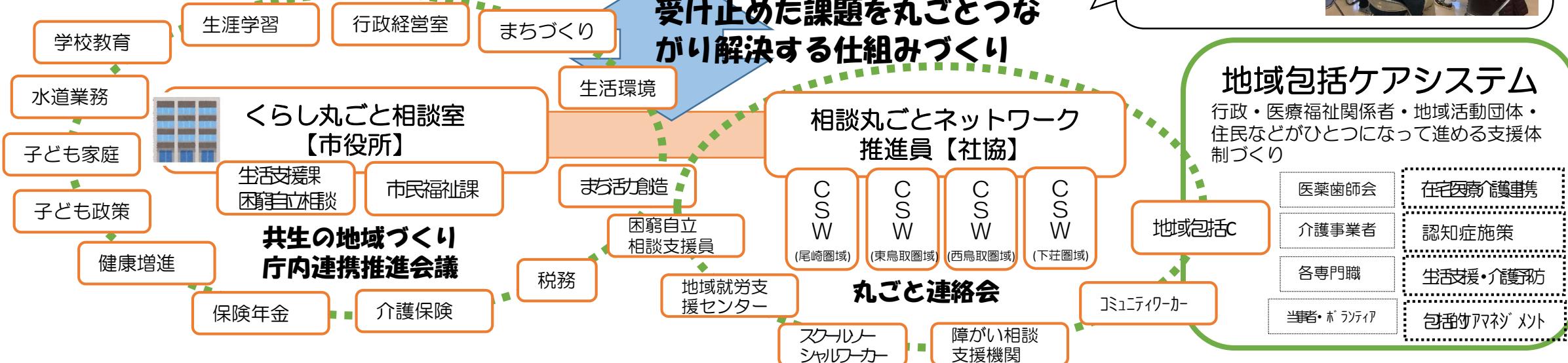


農業・福祉の連携
子どもから高齢者まで共に学び体験する。生きがいづくり

住民と専門職が共に課題を話し合う「地域支えあい会議」を全世代型で進めている。



受け止めた課題を丸ごとつながり解決する仕組みづくり



市町村域

支える